

平成30年広野町新春交歓会を開催



↑新春交歓会の様子

1月9日、広野町中央体育館で平成30年広野町新春交歓会を開催し、約230人の関係者や町民が集い、新年のあいさつを交わしました。会場では、広野産のみかんを使用したジュースや、広野町振興公社が調理した豚汁が振る舞われたほか、広野町文化協会の茶道部会による呈茶サービスが行われました。

富岡地区防犯指導隊広野分隊が双葉警察署長から感謝状



↑感謝状を受けた松本功分隊長（写真左）

12月25日、富岡地区防犯指導隊広野分隊の松本功分隊長が広野町役場を訪れ、日ごろの警察活動への積極的な協力などに対して富岡警察署菅野署長から感謝状が贈られたことを遠藤町長に報告しました。

遠藤町長は「地域の安全は、防犯指導隊の活躍が不可欠であり、日ごろからのご尽力によるものである。」と感謝の言葉を述べました。

原子力規制委員会が来庁



↑意見交換の様子

1月11日、原子力規制委員会の^{ふたたごよし}更田豊志委員長と田中俊一前委員長が広野町役場を訪れ、遠藤町長、黒田議会議長らと意見交換を行いました。

遠藤町長は「広野町は、福島県、双葉地方の復興に寄与しています。復興に向けては、原子力発電所事故の影響による課題が山積しており、原子力規制庁としっかり対応してください。」と意見を述べました。

広野町民生委員に委嘱状を伝達



↑委嘱状を受けた渡邊とも子さん（写真右）

12月21日、広野町民生委員に委嘱された渡邊とも子さんに委嘱状を伝達しました。

広野町民生委員は、町内各地区で平成28年12月からの任期により既に活動していますが、桜田（上浅見川）・大谷内・中央台地区の民生委員が不在であったことから、新たに同地区の民生委員として渡邊とも子さんに委嘱することとなりました。

世耕弘成経済産業大臣視察来町



↑世耕経産大臣（写真右）に要望書を手渡す遠藤町長（写真左）

1月18日、世耕弘成経済産業大臣が広野町役場を訪れ、遠藤町長、黒田議会議長らと意見交換を行いました。遠藤町長は世耕経済産業大臣に対して町の現状を説明するとともに、イノベーション・コースト構想の推進などの要望書を手渡しました。

また、その後広野駅東地区に移転した馬場医院を訪れ、小鹿山博之院長と広野薬局の稲川ひろみ代表取締役と意見交換をしました。

広野町老人クラブ連合会が紅白幕を寄贈



↑町に紅白幕を寄贈する大和田高男会長（写真左）

12月13日、広野町老人クラブ連合会の大和田高男会長が広野町役場を訪れ、町へ紅白幕2枚を寄贈しました。

これは、同会が厚生労働大臣表彰受賞を記念して寄贈していただいたもので、町が主催する敬老会や新春交歓会で活用させていただく予定です。

百矢祭7年ぶり復活



↑厄払い・無病息災を願い矢を射る氏子ら

1月21日、震災後に中断していた伝統行事「百矢祭」が7年ぶりに折木字亀ヶ崎地区の亀山神社で催され、大勢の住民で賑わいました。百矢祭は太郎方と次郎方の二手に分かれた10人の氏子が約15m離れた的を目掛けて矢を放ち、厄払いや無病息災を祈願するものです。

当日、境内には住民、写真愛好家ら約100人が集まり、伝統行事の復活を喜んでいました。

7年ぶりに「とり小屋」を実施



↑久しぶりの「とり小屋」に笑顔があふれる参加者たち

1月7日、折木字田中地区で震災により途切れていた年末年始の風物詩「とり小屋」が復活しました。

当日は、「とり小屋」の中心メンバーが集まり、正月飾りを持参した地域住民らに甘酒やもつ煮を振る舞っていました。

翌日8日には、朝6時にとり小屋に火をつけ、正月飾りと一緒に燃やしました。燃やした火であぶった餅を訪れた方に振る舞い、新年の無病息災を願いました。